

小論文1 解答例

【一】

問一 a 概念 b 厳密 c 失格 d 儀式 e 帰属

問二 俗語＝日常生活で使用されている、ローカルで雑多な話し言葉。

標準語＝正しい文法と発音とイントネーションによって構成された書き言葉。

普遍語＝「標準語」誕生以前に、時代・地域を越えて通用していた（書き）言葉。

問三 出版業が産業として確立する時期に、雑多に存在する「俗語」の境界を超えたより広い統一的

な市場の必要に応じて、新しい「書き言葉」として生まれた。（70字）

問四 日本人や日本語が最初からあるのではなく、資本主義の力によって産業としての出版を拡大さ

せるために生み出された「出版語」を人々が日常的に使い、それを使用する集団を同じ日本人と見なすことにする、ということ。（100字）

問五 「国民」は自然に形成された共同体ではなく、資本主義によって作られた「標準語」を使う集

団を、それとは異なる言葉を使う集団から区別することで作り出された。さらに「国民」は人々の感覚によって成り立っているため、あくまで想像上のものにすぎない、ということ。（124字）

【二】

問一 新潟 群馬 埼玉 山梨 静岡 岐阜 愛知 富山

問二 五穀の実らない里があるだろうか（そんな里などない）。

問三 更科（更級）にある姨捨山にかかる美しい月を見れば、本来ならば私の心は慰められていいはずなのに、今の私の心はその美しい月を見ても慰められないということ。

問四 （その人たちは）皆この国の人であり、文武の誉れは類いなく、高い山のように人々が仰ぎ見るほどであり、遠く流れる川のようにその名が尽きることがないほど偉大であること。

問五 武士というものは常日ごろどんなに高名を立てようが、最期に不覚をとってしまうと永遠の不名誉となってしまう。つまらない敵に討たれて死ぬくらいならば自害したほうが武士としての面目が立てられるから。（95字）